

帯広畜産大学 地球温暖化対策 ロードマップ

2022年現在

- CO2排出量（2021年度） 6,403 t-CO2
- 新築建物のZEB化 畜産フィールド科学センターⅠ期・Ⅱ期
- エネルギー使用量（2021年度） 125,302GJ（原単位：1.540GJ/m²）
- 照明器具LED率 10%（面積比）
- 再生可能エネルギー電力の調達 未設定
- 電動車導入率 乗用 11%（1台/9台中）
貨物 0%（0台/11台中）

2030年

- CO2排出量（2030年度） 4,364 t-CO2
- 新築建物のZEB化 6棟
- エネルギー使用量（2030年度） 115,300GJ（原単位：1.417GJ/m²）
- 照明器具LED率 100%（面積比）
- 再生可能エネルギー電力の調達 60%
- 電動車導入率 乗用 100%（9台/9台中）
貨物 36%（4台/11台中）



実施要領各取組

取組	基準年 2013	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	備考
再生可能エネルギーの最大の活用に向けた取組		▲太陽光発電設備 52kw		▲太陽光発電設備 44kw	▲太陽光発電設備 44kw ▲太陽光発電設備 10kw	▲太陽光発電設備 20kw			▲太陽光発電設備 10kw		▲PPA太陽光発電設備		
建築物の建築、管理等に当たった取組				▲ZEB FSC改築（Ⅰ・Ⅱ期）	▲ZEB FSC改築（Ⅲ期）	▲ZEB FSC改築（Ⅳ期）	▲ZEB-O 福利施設改修	▲ZEB-O 課外活動施設改修	▲ZEB-O 3号館改修	▲PPA太陽光発電設備	▲PPA太陽光発電設備		
財やサービスの購入・使用に当たった取組			▲電動車導入（乗用） 11%	▲照明器具LED化 10%	▲再生可能エネルギー電力調達 10%		▲電動車導入（乗用） 20%	▲照明器具LED化 50%	▲再生可能エネルギー電力調達 30%			▲電動車導入（乗用） 100%	▲照明器具LED化 100%
事務・事業に当たった温室効果ガスの排出削減への配慮													▲再生可能エネルギー電力調達 60%
ワークバランスの確保・職員に対する研修等													ペーパーレス化推進 フロン類の排出抑制 プラごみの排出削減・リサイクルの実施
目標CO2排出量 単位：t-CO2	8,907	7,300	6,403	6,340	6,270	6,100	6,070	5,570	5,440	4,840	4,540	4,364	
削減量（年） 削減量累計 （削減率） 単位：t-CO2	-	△1,607 1,607 (18.0%)	△897 2,504 (28.1%)	△63 2,567 (28.8%)	△80 2,647 (29.7%)	△160 2,807 (31.5%)	△30 2,837 (31.9%)	△500 3,337 (37.5%)	△130 3,467 (38.9%)	△600 4,067 (38.9%)	△300 4,367 (49.0%)	△176 4,543 (51.0%)	